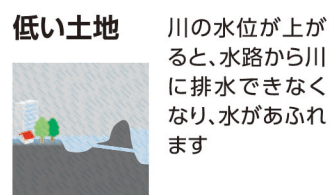
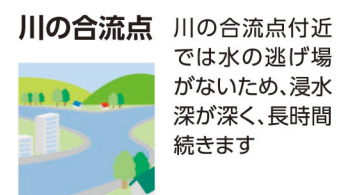
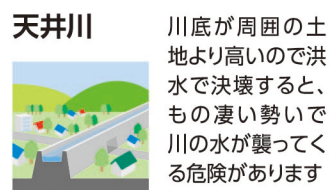
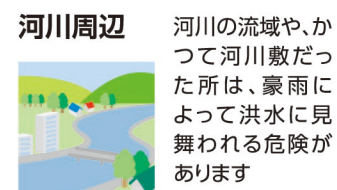


洪水 台風、前線の停滞、ゲリラ豪雨に注意！

近年の豪雨等による水害発生状況によって、「水防法」の一部が改正され、洪水予報河川や水位周知河川では、想定最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域の指定などが義務づけられました。

土器川と金倉川では、これまで「計画規模降雨」による洪水浸水想定区域が公表されていましたが、新たに「想定最大規模降雨」による洪水浸水想定区域が公表されました。



平成16年(2004)台風、集中豪雨災害

平成16年(2004)は台風の上陸数が過去最大数を記録した年でした。四国に相次いで襲来した台風による豪雨で床上浸水や山崩れ等の被害が発生しました。台風15号では、大野原町五郷地区(現在の観音寺市)で自主避難していた自治会館に土石流が直撃し、2人が溺死にのまれるなどの痛ましい被害がありました。

出典先/平成16年災害記録誌(香川県防災局)

死者	19名
負傷者	52名
全半壊	122戸
住家被害	一部損壊 629戸
床上浸水	10,171戸
床下浸水	29,230戸

出典先/平成16年、香川県全体



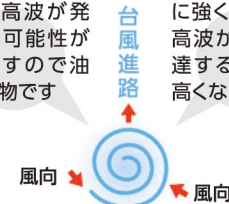
金倉川(まんのう町岸上) 平成30年7月7日

洪水の大元は？

台風や前線の停滞によって数時間にわたり大量の雨が降る集中豪雨、一時的に激しい雨が降るゲリラ豪雨に注意が必要です。

1. 台風の接近

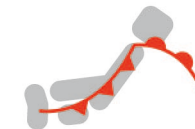
西側でも、地形によって高波が発生する可能性がありますので油断は禁物です



東側では、風が急に強くなるため、高波が異常に発達する可能性があります

2. 前線の停滞

日本付近では6月頃に梅雨前線、9月頃に秋雨前線が停滞します



3. ゲリラ豪雨

大気の状態が不安定な時、積乱雲が発達します

積乱雲が近づくサイン

- 真っ黒い雲が近づいてくる
- 雷の音が聞こえてくる
- 急に冷たい風が吹いてくる

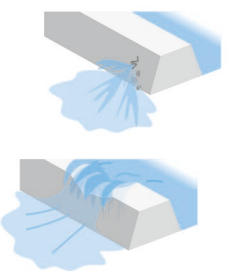


洪水が起こるのは？

堤防の決壊と排水施設の限界です。

1つは、堤防の決壊

- ・ 河川の水が堤防内にしみこみ、堤防が弱くなり起こります
- ・ 速い水流によって堤防の河川側が浸食されて起こります
- ・ 増水により河川の水が堤防を超えあふれて、堤防の市街地側が削られます



(特別警戒水位) **はん濫危険水位**
河川はん濫のおそれがある水位

避難判断水位
避難情報の発表目安となる水位

土器川(祇園橋) **4.30m**
金倉川(高敷橋) **2.10m**
4.00m **1.95m**

もう1つは、排水施設の限界

排水路で雨水がはけきれなくなり、水がマンホール、溝から吹き出します

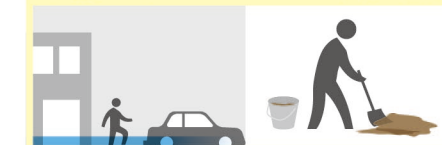


浸水の深さと状況

浸水の深さによって状況は異なります。状況に応じた避難行動を考えましょう。

0.5m 未満の浸水

- 床下浸水
- 大人のひざ下程度
- 浸水の深さがひざ上になると、歩行は危険



0.5~3.0m までの浸水

- 2階の床下まで浸水
- 1階部分が浸水
- 強い水流の中を歩くことは危険



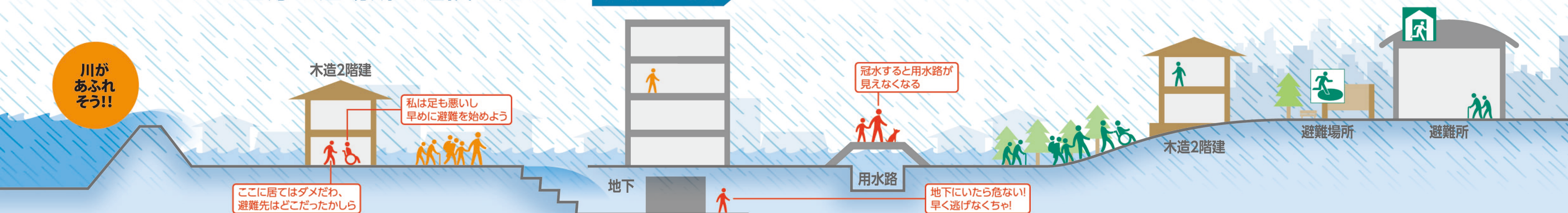
3.0~5.0m までの浸水

- 2階の屋根まで浸水
- 水流が強い場合には、木造住宅が倒壊、流出する危険がある



リスクマップで自分の居場所の危険を知ろう

P12~31



川に近づかない!!

ライブカメラの活用

増水した川は大変危険です!!
河川のライブカメラ画像を国や県のホームページから確認できます。

土器川
http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/river/doki_cctb/index.html



金倉川
<http://kasencamera.pref.kagawa.lg.jp/index/detail/15.html>



立退き避難が基本

安全な場所まで立退き避難

浸水区域の外または近くの高い建物に早めに避難



屋内安全確保

浸水がすでに始まり逃げ遅れた場合は建物内の高い場所へ避難

浸水の深さや建物の高さによっては、2階以上に避難



避難の注意

地下は危険!!

短時間の大雨により、地下に水が流れ込んだ場合、少しの浸水でも水圧で扉が開けなくなったり、階段を上がれなくなります。

地下からは、早く避難しましょう!



避難の時は足元注意!

浸水している場所を歩くときには、棒などでマンホールや側溝に注意しましょう。水の深さが膝を超えると歩行が難しくなります。

(流れが速い場合などは状況が異なりますので目安として知っておきましょう)

大人男性 ... 水位 70cm
大人女性 ... 水位 50cm
子供 ... 水位 20cm



アンダーパスに注意しよう!

アンダーパスとは、交差する鉄道や道路などの下を通過するため、周辺の地面よりも低くなっている道路のことをいいます。地形的に雨水が集中しやすい構造となっています。大雨、洪水時には自動車での侵入はやめましょう。

